

## 胎内の化学物質影響調査(2009・9・28読売)

健康異変の増加受け 環境省10万人 12歳まで継続

環境省は来秋から、母親の胎内に蓄積された化学物質が子どもへの発育や健康に与える影響について大規模な調査に乗り出す。妊婦10万人から血液や尿などを採取して150種類以上の化学物質を分析、その後の子どもへの健康状態を継続的にチェックする。

## 体重激増、ドクターストップ(2004・12・13琉球)

高脂肪、高カロリーのファーストフードで30日

痛風と腎臓結石発症 米映画監督自ら実践し撮影

ハンバーガーやポテトを毎食続けたら。近く日本で公開される米国映画「スーパーサイズ・ミー」では、モーガン・スパーロック監督(34)自らが、高脂肪、高カロリーのファーストフードだけ過ごした30日間の生活が撮影されている。

## 学校の食堂揚げ物禁止(2004・4・13朝日)

米テキサス州の公立学校で8月の新年度から、食堂からフライドチキンといった「揚げ物」が姿を消す。農務局が3月に発表した「砂糖と脂の削減」「野菜や果物を増やす」などの規制が実施されるからだ。

## コーラの校内販売停止(2006・5・6北海道)

米の小中学校 08年から 肥満対策で

米国飲料協会(ABA)は4日までに、小中学校でのコカ・コーラなど糖分の多い清涼飲料の販売を三年後に全面的に停止すると発表した。

## ハンガリー ポテトに税金(2011・7・14読売)

スナック菓子、高カロリー飲料対象 9月から

ハンガリー議会で11日、ポテトチップスなどのスナック菓子や高カロリーの清涼飲料水など健康に良くないとされる加工食品に課税する新法が成立した。

# 福岡県養豚農家で死産が続く

月刊 総合医学 日本総合医学会 副会長 山口康三

10年程前、福岡県の養豚農家で死産が続いたことがありました。やっと産まれてきた子豚も奇形だったり、衰弱ですぐに死んだりしたのです。羊水はコーヒ一色に濁っていました。農場主は、実は豚の妊娠期間である114日前から、コンビニの廃棄弁当を与えていました。弁当は消費期限の2時間前に廃棄しますから、腐っているわけではなく、農場主が食べても問題のない品質だったそうです。人間で言えば三食すべてをコンビニ食にしたのと同じことです。農場主は合わせて250頭の子豚をなくし、慌てて元の穀物に替えたところ、お産は元に戻ったというのです。

# 男子60人中58人が奇形精子

日本不妊学会 森本義晴先生研究発表 1998・10

婦人科の検診の半分は不妊症についてです。昔は10組の夫婦に1組くらいの割合でしたが、いまは7組に1組ぐらいに増えてします。その原因の半分は、男性にあります。普通の男性の精子はどうか調べたのです。大阪の男性、平均年齢21歳です。その結果、60人のうち正常だったのは、なんと2人でした。いったいどんな食生活をしているのか調べてみたら、8割の人がカップ麺とハンバーガーを常食としていました。ハンバーガーの45%は脂肪です。ダイオキシンは油に溶けます。それが精巣に蓄積した結果、精子に異常が生まれたのだと考えられます。